

手術部

1 構 成 員

	平成 26 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
准教授	1 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	2 人	(2 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	4 人	
その他（技術補佐員等）	1 人	
合計	8 人	

2 教員の異動状況

栗田忠代士（准教授） H10.4.1～H19.3.31 助手；H19.4.1～H21.1.31 助教；

H21.2.1～H24.2.29 講師；H24.3.1～ 現職

森田耕司（助教） S53.4.16～H19.3.31 助手；H19.4.1～現職

木村哲郎（助教） H23.5.5～現職

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 25 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	2 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	4.79	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	2 編	(2 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. T. Kurita, M. Uraoka, Q. Jiang, M. Suzuki, Y. Morishima, K. Morita, S. Sato: Influence of cardiac output on the pseudo-steady state remifentanyl and propofol concentrations in swine Acta Anaesthesiol Scand 2013; 57: 754-760 [2.355]
2. T. Kimura, A. Suzuki, S. Mimuro, H. Makino, S. Sato: Bronchial intubation could be detected by the visual stethoscope techniques in pediatric patients Pediatric Anesthesia 2013; 22: 1185-1190 [2.436]
インパクトファクターの小計 [4.791]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総説

(4) 著書

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 木村哲朗, 牧野洋, 浦岡雅博, 石田千鶴, 水野香織, 谷口美づき, 五十嵐寛, 加藤孝澄, 佐藤重仁: 腰椎後方固定術に手掌発汗が増加した胸部交感神経遮断術往生のある1症例 ペインクリニック 34 (4) 2013.4 557-9 [0]

インパクトファクターの小計 [0]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

4 特許等の出願状況

	平成 25 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 25 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	2 件	(164 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件	(0 万円)

- (1) 文部科学省科学研究費
 - ・ 基礎研究(C) (研究代表者) 「出血性ショック時の静脈麻酔薬の薬物動態力学への影響」 平成23年度～平成25年度 平成25年度110万円
 - ・ 挑戦的萌芽研究 (研究代表者) 「心拍周期の最大変動量は輸液応答性閾値を示す」 平成23年度～平成25年度 平成25年度54万円
- (2) 厚生労働科学研究費
- (3) 他政府機関による研究助成
- (4) 財団助成金
- (5) 受託研究または共同研究

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	1 件
(3) 学会座長回数	0 件	4 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	0 件
(6) 一般演題発表数	4 件	

- (1) 国際学会等開催・参加
 - 1) 国際学会・会議等の開催
 - 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
 - 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
 - 4) 国際学会・会議等での座長
 - 5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

1. Kawashima Y, Morita K, Akinaga C, Taniguchi M, Uchizaki S, Sato S: The introduction of an automated anesthesia record system in epidural analgesia for labour and delivery in the maternity ward? AAC(AAsian Australasian Congress of Anaesthesiologists)2014 2014.02.21.25
Auckland(New Zealand)
2. Katsuragawa T, Kimura T, Suzuki A, Makino H, Katoh T, Sato S: Anesthesia for a morbidly obese patient who took the prone position by himself after intubation during supine surgery
AAC(AAsian Australasian Congress of Anaesthesiologists)2014 2014.02.21.25
Auckland(New Zealand)
3. Suzuki K, Sano H, Kimura T, Mizuno K, Kato T, Taniguchi M, Makino H, Igarashi H, Sato S: A

case of central pain for which ECT was effective AAFPS2014 2014.03.27-30 Taipei

4. Sano H, Natsumoto T, Kimura T, Mizuno K, Suzuki K, Igarashi H, Kato T, Taniguchi M, Makino H, Sato S: A case of an athlete with lumbar spinal canal stenosis that improved with epidural neuroplasty using racz spring guide catheter AAFPS2014 2014.03.27-30 Taipei

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

2) 学会における特別講演・招待講演

3) シンポジウム発表

- ・ 森田耕司： 基調講演 第8回日本医学シミュレーション学会学術集会 2013.02.09-10 浜松市

4) 座長をした学会名

- ・ 日本麻酔科学会第60回学術集会
- ・ 日本麻酔科学会東海・北陸支部第11回学術集会
- ・ 日本臨床麻酔学会第33回大会
- ・ 第9回日本医学シミュレーション学会学術集会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成25年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成25年度
産学共同研究	0件

11 受賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道